

●器具の取付方法

1 スポンジを取り付ける

操作 スポンジについている両面テープのハクリ紙のみをはがし、本体の電源ユニット（天井側）へ右図のようにしっかり貼ってください。

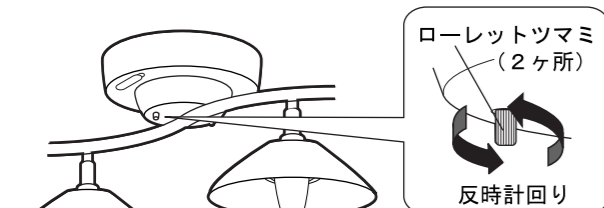
スポンジ貼付位置



注意 スポンジのハクリ紙をはがす際はゆっくりはがしてください。

2 本体から電源ユニットをはずす。

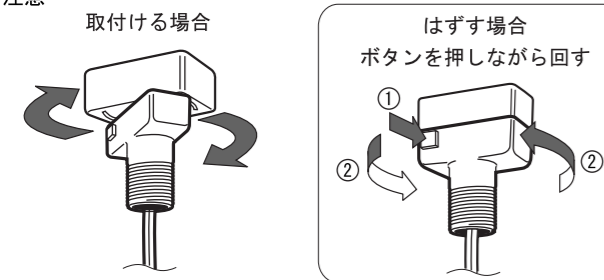
操作 取付ネジからローレットツマミを反時計回りに回して本体から電源ユニットを外してください。



注意 外した際、本体と電源ユニットは落下防止のワイヤーで、繋がっています。

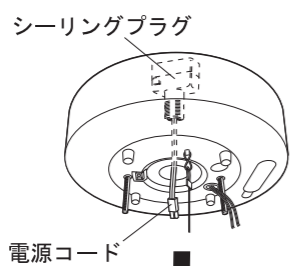
3 天井の配線器具にシーリングプラグを取付ける

注意 出荷時は、シーリングプラグに楽チャックがついています。シーリングプラグから楽チャックを取り外してください。

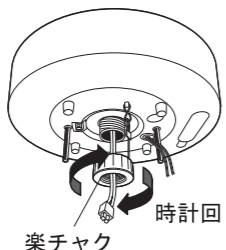


4 本体を取付ける

操作 3で取り付けたシーリングプラグの電源コードを本体の穴に通す。



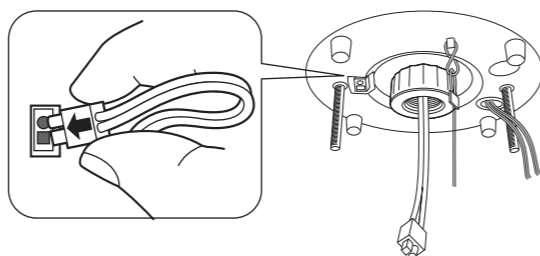
操作 本体を押し上げながら楽チャックを時計回りに回して固定する。



注意 楽チャックで固定する際、本体を確実に押さえながら作業してください。押さえ方が不十分の場合、落下する恐れがあります。

5 コネクタをソケットに差し込む

コネクタを「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。



注意 コネクタが確実に挿入されていないと不点灯や故障の原因になります。

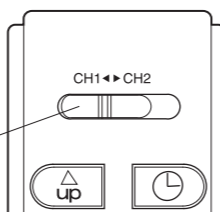
6 器具本体のチャンネルを設定する

① 照明器具本体のチャンネルを確認します。



チャンネルスイッチ

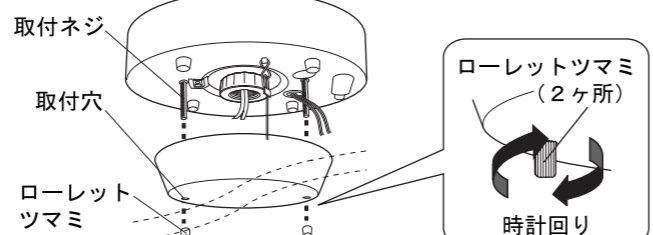
② リモコンのチャンネルと照明器具のチャンネルを合わせます。



チャンネルスイッチ

※出荷時はCH1に設定してあります。

7 器具本体を取り付ける



操作 取付穴から取付ネジを通しローレットツマミを時計回りに回してしっかりと固定する。

注意 取り付けの際、配線をはさんでしまいますと、断線して点灯しなくなるので、ご注意ください。

8 点灯を確認する

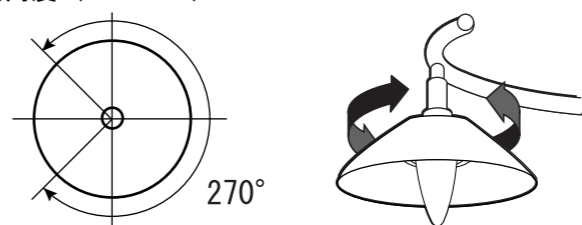
操作 点灯は、壁スイッチおよびリモコンでの操作が可能です。詳しくはリモコンの補助説をご覧ください。

壁付調光器（ライトコントロール）との併用はできません。チラつきや立ち消え等の点灯不良、調光器や照明器具の故障の原因になります。

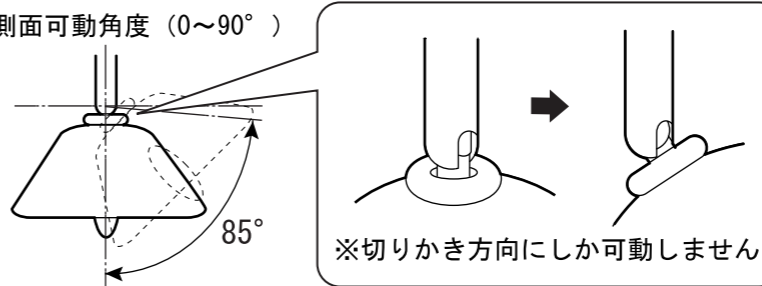
●照明角度の調整

照明の各部分をお好みの位置に調整する事が出来ます。

■平面可動角度（0～270°）



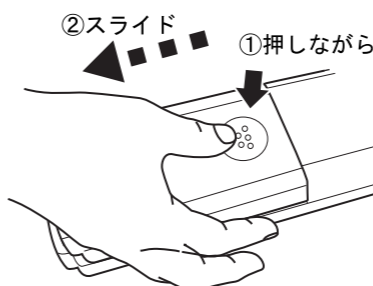
■側面可動角度（0～90°）



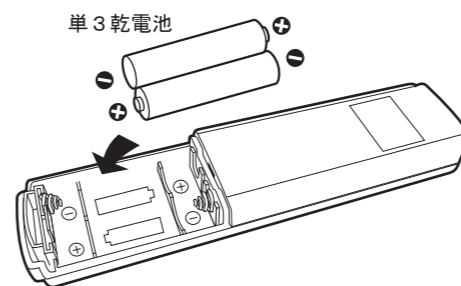
注意 照明部の角度調整をする際は、メインバーを持って調整してください。器具の損傷や天井を傷める原因になります。またセードがメインバーに当たらないように注意してください。器具を傷める原因となります。

●リモコンへの乾電池の入れ方

1 裏面のカバーの凹んだ箇所を押しながらカバーをスライドさせる。



2 単3乾電池を表示に合わせて、+ - を正しく入れカバーを閉めてください。

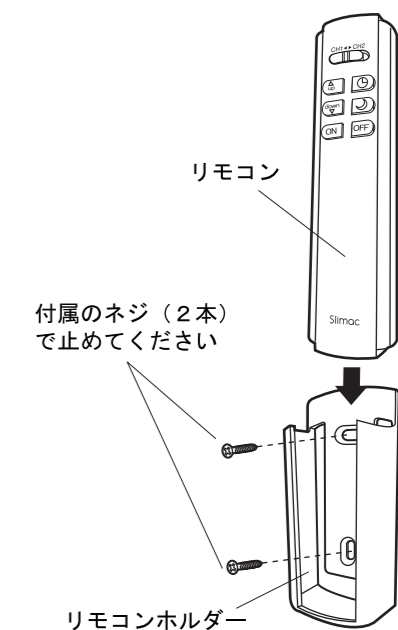


乾電池について

注意 ●乾電池の寿命は使用する乾電池や条件により異なりますが約1年がめやすです。信号が届かないときは交換してください。
●乾電池は正しくお使いください。液漏れや破損の原因となります。
・交換の際は必ず2本とも新しい同じ種類のものとの交換してください。
・長期間使わないときは、乾電池を取り外してください。（液漏れなどによる故障の原因）

●リモコンホルダーの取付け方

リモコンホルダーを使用して紛失防止用に壁掛け収納できます。



●ご使用上の注意

- 警告** 安全上、LEDモジュールを直視することはおやめください。
- 禁止** セードやバーにぶら下がらないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭では、保護者の方のご注意をお願いします。配線器具の脱落や電源コードが断線して器具が落下した場合、ケガ家財の損傷、器具破損火災の原因になります。
- 警告** LEDモジュールには絶対にさわらないでください。火傷や故障の原因になります。
- 注意** 3Dテレビ用などの特殊メガネをかけて、LEDモジュールを見た場合チラツク場合がありますので直視しないようお願いいたします。
- 禁止** カーテンなど、可燃物の近くで使用しないでください。火災の原因になります。また点灯中はセードが熱くなっていますのでさわらないでください。

《ご注意ください》

- 表示された電源電圧（AC100V）、周波数（50/60Hz）以外で使用しないでください。
- 本製品をご使用中、ラジオ等の音響機器への雑音や他の家電製品の赤外線リモコンが作動しない場合がごまれにありますが、この場合は、トラブルが発生しなくなる距離まで離してご使用ください。